



2026年3月18日

各位

会社名 アライドアーキテクト株式会社
代表者名 代表取締役会長 田中 裕志
(コード番号: 6081 東証グロース市場)
問合せ先 執行役員 財務経理部長 水野 智博
(TEL 03-6408-2791)

第三者割当による新株式発行に関する資金使途及び支出予定時期の変更について

当社は、本日開催の取締役会において、2025年11月14日開催の取締役会決議に基づき、第三者割当による新株式発行（以下「本第三者割当増資」といいます。）を実施し、2025年12月1日に払込みを完了いたしました当該資金の使途及び支出予定時期につきまして、下記のとおり変更することを決議いたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 変更の内容

本第三者割当増資により調達した資金の支出予定時期等の変更内容は以下のとおりであり、変更箇所は下線で示しております。

変更前<本第三者割当増資>

具体的な使途	金額 (百万円)	支出予定時期
クリプト領域におけるエンタープライズ向け導入支援及び関連システムの提供（イネーブラー）に係る事業開発投資	<u>297</u>	<u>2026年1月～2027年12月</u>

変更後<本第三者割当増資>

具体的な使途	金額 (百万円) (充当済金額)	支出予定時期
クリプト領域におけるエンタープライズ向け導入支援及び関連システムの提供（イネーブラー）に係る事業開発投資	<u>77</u> <u>(18)</u>	<u>2026年1月～2026年2月</u>
<u>次世代 DAT（デジタル・アセット・トレジャリー）構想の推進を目的とした連結子会社 Allied Verse Pte. Ltd.（アライドバーズ）への増資</u>	<u>220</u>	<u>2026年3月</u>

(注) 変更前後で差引手取概算額の総額（297百万円）に変更はありません。

2. 変更の理由

当社は、2025年11月14日付「第三者割当による新株式の発行に関するお知らせ」において、本第三者割当増資の資金使途を「クリプト領域におけるエンタープライズ向け導入支援及び関連システムの提供（イネーブラー）に係る事業開発投資」（支出予定時期：2026年1月～2027年12月）と公表しておりました。

しかしながら、2025年11月の本第三者割当増資の実施以降、当社を取り巻く事業環境及び当社の戦略の具体化に関して以下の重要な進展がありました。

(1) 次世代DAT構想の策定着手（2026年1月16日付開示）

2026年1月16日、当社は最高暗号資産責任者（CCO）を新設し、大木悠氏を任命するとともに、次世代DAT（デジタル・アセット・トレジャリー）構想の策定に着手することを決議いたしました。本構想は、クリプト領域イネーブラー事業を基点としながら、自社でのデジタル資産保有・運用（DeFi/ステーキング等）や将来的な企業・富裕層向けソリューション提供までを包含する、より広範かつ総合的なデジタル資産活用の枠組みとして位置づけられます。

(2) 専門家顧問の招聘（2026年1月21日付開示）

2026年1月21日、当社は次世代DAT構想の推進及びクリプト領域イネーブラー事業の加速を目的として、Web3事業戦略・暗号資産ビジネス、会計・財務・暗号資産規制、暗号資産・Web3法務等の各分野における専門家4名を顧問として招聘いたしました。これにより、デジタル資産活用に関するガバナンス・法務・財務の専門体制が整備されました。

(3) PG Labs とのパートナーシップ締結（2026年3月9日付プレスリリース）

2026年3月9日、当社はAIを活用したクロスチェーンインフラ「Pheasant Network」の開発を主導する株式会社PGLとのパートナーシップ契約を締結いたしました。本パートナーシップにより、技術供給サイド（PG Labs）、需要サイド（当社の企業ネットワーク）、設計・推進サイド（当社）の三位一体体制を構築し、日本企業のオンチェーン実装を実務レベルで推進する体制が整いました。

(4) Digital Assets Working Group への参画（2026年3月10日付プレスリリース）

2026年3月10日、当社は一般社団法人Ethereum Japanが設立した「Digital Assets Working Group」にメンバーとして参画するとともに事務局を担うこととなりました。ステーブルコインやRWA等、日本企業のオンチェーン利活用に関する実務研究を通じ、当社が目指すオンチェーン実装支援の具体的基盤が形成されつつあります。

以上の進展を踏まえ、当社は当初想定していたクリプト領域イネーブラー事業単体への開発投資にとどまらず、次世代DAT構想全体を機動的・一体的に推進することが企業価値の向上に資すると判断いたしました。

具体的には、当社の次世代DAT構想の中核的実行主体として位置づけるシンガポール連結子会社Allied Verse Pte. Ltd.（アライドバース）に対して本調達資金を増資として投下することにより、同社を通じた次世代DAT構想の推進が最も効率的かつ合理的であると判断し、資金使途を変更することといたしました。

なお、当該変更後の資金使途は、クリプト領域イネーブラー事業を包含する次世代 DAT 構想全体に充当されるものであり、本第三者割当増資の本来的な目的であるクリプト・デジタル資産領域における事業推進という趣旨に変更はございません。

3. 今後の見通し

本変更が当社業績に与える影響は軽微であります。今後、開示すべき事項が生じた場合には、速やかにお知らせいたします。

以上